



## 当院で使用可能な新型コロナウイルス治療薬!!

今回は当院で使用可能な新型コロナウイルス感染症治療薬についてご紹介します。

まず初めに、COVID-19の原因ウイルスについておさらいです。COVID-19の原因ウイルスはSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)と言われ、コロナウイルス属に属するエンベロープ(脂肪・タンパク質・糖タンパク質からできている膜)を持つ1本鎖RNAウイルスです。新型コロナウイルスも他のウイルスと同様に、自己単独では増殖できず、人の細胞表面のレセプターを通して、細胞内に侵入し(侵入)、ウイルス自身の酵素(今回はRNAポリメラーゼ)を用いて複製し(複製)、タンパク質や酵素を作って増殖し(増殖)、細胞外に出て他の正常な細胞に広がること(拡散)を繰り返すことで、私たちの体の中で広がっていきます。重症化すると、サイトカインストームと呼ばれる過剰な免疫反応を起こしたり、呼吸不全を起こすこともあります。

では、どのような薬剤が治療薬になるのでしょうか？抗ウイルス薬の多くは、ウイルスの①侵入、②複製、③増殖の過程をターゲットとしています。また、④過剰な免疫反応を阻害することもCOVID-19の重症化を抑えるために必要な治療となります。効果が期待できる薬剤が実用化するため、治療効果や安全性を検証するための治験や臨床試験がすすんでおり、一部には承認されたものもあります。

薬剤名	剤形	作用機序	適応疾患	用法用量	妊婦
レムデシビル (ベクルリ®)	点滴	②ウイルス複製阻害	エボラ出血熱 新型コロナウイルス	通常、成人及び体重40kg以上の小児にはレムデシビルとして、投与初日に200 mgを、投与2日目以降は100mgを1日1回点滴静注する。通常、体重3.5kg以上40kg未満の小児にはレムデシビルとして、投与初日に5 mg/kgを、投与2日目以降は2.5 mg/kgを1日1回点滴静注する。なお、総投与期間は10日までとする。	使用不可
デキサメタゾン (デキサート®など)	錠剤 点滴	④過剰な免疫反応阻害	重症感染症 間質性肺炎等	デキサメタゾンとして6mg1日1回10日間 経口・経管：デカドロン錠4mg 1.5錠 静注：デキサート注射液6.6 mg/2mL 1バイアル全量	使用不可
ファビピラビル (アビガン®)	錠剤	②ウイルス複製阻害	インフルエンザ	3,600mg(1,800mg1日2回)(Day1)+1,600mg(800mg1日2回)(Day2以降)、10日間、最長14日間投与	禁忌
シクレソニド (オルベスコ®)	吸入	④過剰な免疫反応阻害	気管支喘息	1,200µg(400µg1日3回)を最長14日間投与	有益性投与
トシリスマブ (アクテムラ®)	点滴	④過剰な免疫反応阻害	関節リウマチなど	関節リウマチについては1回8mg/kgを4週間隔で点滴静注している。新型コロナウイルス感染症に対する適切な投与量は不明だが、中国からの報告では400mg単回投与、Guaraldiらの報告では8mg/kg(最大800mgまで)を2回に分けて静脈内投与が行われている。	有益性投与
ナファモスタット (フサン®)	点滴	①ウイルス侵入阻害	DICなど	DICに対しては、1日量を5%ブドウ糖注射液1,000mLに溶解し、ナファモスタットメシル酸塩として毎時0.06~0.20mg/kgを24時間かけて静脈内に持続注入する。新型コロナウイルス感染症に対する適切な投与量は不明である。	有益性投与

当院で新型コロナウイルス感染症治療薬として使用可能な薬剤一覧とその作用機序です。

現在適応症を有しているのはベクルリーのみであり、その他は未承認薬として適応外使用されています。作用機序の違いから、アビガン+オルベスコやベクルリー+アクテムラなどの組み合わせで併用で投与されることもあります。

上記以外にも疥癬治療として承認されているストロメクトールなどが治療薬候補として上がっており、治験の実施が検討されています。一方で、治療薬候補として期待された薬剤も有効性が乏しいことから臨床試験が中止となった薬剤もあります。現時点では既存薬を転用するアプローチが先行していますが、新規の薬剤を開発しようとする動きも広がってきています。今回は治療薬を中心にご紹介しましたが、ワクチンも各国で臨床試験が進められており、1日でも早く私たちのもとに届くことを願っています。(AST専従薬剤師 三木芳晃)

内部資料のため閲覧不可

### 感染管理室からのお知らせ

10月16日(金)に令和2年度第1回感染対策研修会を開催します。全職員対象の必須研修ですが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、定員120名とさせていただきます。当日、参加できなかった方は動画配信をお待ち下さい。ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

**必須研修 2020年度**  
感染対策研修会のご案内

日本専門医機構認定研修会  
本年度も外部講師を招いての全職員を対象とした研修会を下記の通り行います。多数のご参加お待ちしております。

日時:2020年10月16日(金)17:15~18:30  
場所:西棟13階 体育館 ※参加費・お昼ご飯は無料です  
テーマ:『この冬、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にどう備えるか』  
講師:大阪府立総合医療センター 感染症内科 医長 白野 倫徳 先生  
対象:全職員(定員120名)

日本専門医機構認定研修会:受講証明書の発行を希望される医師は当日入室までお申し出ください。  
研修会に専任で対応するスタッフは、研修会当日は出勤ができません。  
研修会当日は出勤ができません。  
研修会当日は出勤ができません。  
研修会当日は出勤ができません。  
研修会当日は出勤ができません。

主催:大阪府済生会中津病院  
感染対策委員会/感染対策チーム-抗感染薬正使用支援チーム